

キャンプ

キャンプ

(名)

—する。自弁

○私はこの夏、赤城山の  
大沼の畔でキャンプ  
生活をした。

○今年の夏は何處でキャンプしようか迷つてゐる。

キ  
ユ

ウ (ウ)

き  
ふ (フ)

急 (フ)

名 形 動

○いくら急いでも急の間にはあはない。

○急は仕事でお気の毒です。

○急を要する仕事です。

○兩國の關係は今や急を告げてゐる。

○急な坂

○國家の急に赴く。

○急に寒くなつた。

キエウ きふ 級 名

(一) 華級

○ 彼は級で一番である。

(二) 階級、等級等を表はす場合、助数詞的に用ひら

れる。

○ 異才に於ては周氏生前の功を

嘉せられた。特旨を以て位一級を進められた。

○ 我が国一万吨級の巡洋艦の性能は世界に冠

をすものがある。

○ 彼は三年級に編入された。

○ 大臣級の人物

牛二抄

まろ

蓮

(名)

○蓮は綴す。

○蓮は長。

○蓮は月

△陰曆はよき月、太陽曆は二月。

○蓮は変。

○蓮は

○蓮は主人。

キ  
ウ

キ  
ウ

灸

名

△一般に御を冠し、才キウといふ。  
○肩にお灸をする。

ギョウ

ギョウ

〔牛〕(名)

牛肉の略

○今日は牛の配給がありますから取りは来

て下さい。

○この牛の罐詰は一つおいくらですか。

(牛罐) 牛罐は牛罐といふ。

○牛鍋を煮る。

キ  
ユ  
ウ  
カ

キ  
ウ  
カ

〔舊家〕

〔名〕

○あの人  
の家は  
この  
地方  
の  
舊家  
です。

1/25/11

(1/2)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



キ  
ニ  
シ  
カ  
キ  
カ  
休  
暇  
(名)

○ 長い 休暇をとる 家人帰る

○ 夏期 休暇

○ 夏季 休暇

○ 病氣 休暇

○ 休暇 休暇

○ 三日月の 休暇

○ 休暇 休暇

○ 休暇 休暇



キユウキョオのきうけぬ「舊教」(名)

オルテルの宗教改革以前のキリスト教を

広く舊教といふ。

○私共の参つて居ります教会は旧教の方で

オ

キニ妙キヨオ 〇  
オウケカ 休業  
ツクニニナリ 自ナ

〇臨期休業。

〇夏期休業。

〇本日は休業仕り候。

〇各商店は八日五期して一ヶ月に休業す

た。

(55)

キユウキン

ギふきん

〔給金〕

〔名〕

○ 給金の半分は本人の名義で貯金してあります。

キコウクツ ちゆうくわ

〔窮屈〕

(名)形動

~~(中) 狭苦~~

○こんな狭苦しい所でこそ窮屈でせう。

○この服は胸の辺が少し窮屈だ。

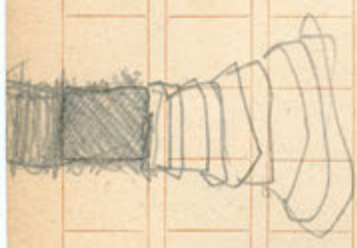
~~(中) 困苦~~

○あの人の前におると何だか窮屈だ。

○知らない家に行くのは窮屈なものである。

○さう窮屈に考へなくてよろしい。

○窮屈な洋服は人にやつてしまつた。



キエ新ケ申工  
きうけい  
休題  
(名)  
——  
自井変

①休題は特ぬ。

40

②休題は特ぬ。

③G干の休題。

④十カ回休題をします。

⑤休題は旧中は自由に読んだりもよし

⑥この辺で休題をします。

(58)

キエウイキ

キユウゲキ きふげき 急激 名、形動

○あの改革は急激すぎた様だ。

○急激な変化は避けたい。

○急激に事を運ぶと失敗する。

○温度が急激に変化する。



キエウゴ きうご

〔救護〕

— する 他 廿 変

○ 員算の者 罹災民 救護の為、~~甲本~~ 赤十字社、~~り~~ 西田 者 東也

ハ看護婦か派遣された

↑ する ↓

○ 政府は予備金日 以て 罹災民を 救護 する

と なる 了

キエ新コオ ぎあかう 急行 (白岩) する。自サ変

○急行列車が下坂に行く。

○三時の急行で幸却へ出た。

○特別急行列車。

○急行券。

○急行券を請け取り、早く現場へ急行した。

知らせを合入する

○知らせを受けるとすぐ現場へ急行した。

キウサイ 〇 きうさい

〔救済〕 〇 する他 廿 変

〇 救済を受けずは済めばそれに越した事は

ない

↑ する ↓

〇 貧民を救済する。と云うては、いふ漫然と金

を身へ<sup>3</sup>た<sup>3</sup>り<sup>3</sup>ては意味がない

キ  
ユ  
ウ  
シ

キ  
ウ  
シ

旧  
師

(名)

○あの方は私の旧師です。

キ  
ユ  
ウ  
ジ

きふど

給社  
(名)

一) 事務所、會社等の雑用をする人

○ 給仕、煙草を買つてきつてくわい

(二) 飲食の世話及び水をする人

○ お前がお給仕してくわいのか。

○ お客様のお給仕には誰が生るのだ。

○ 給仕人が一人も居ない。

キエウシキ

ギョウシキ

舊式

(名)形動

○舊式の機械

○舊式の人間

舊式の人

○舊式な方法でやるも駄目だ



キウジツ  
まろじつ

休日

(冬)

△口語ではヤスミ(休)が普通。

○あの工場では一ヶ月二回の休日がある。

キユウシユウ

きふしう

吸

收

名

しす他弁変

○明治時代は外來<sup>國</sup>文化の吸收に忙し時代だつた。

○木炭は濕氣を吸收する。

○外貨を吸收する。



キユウシヨ

きふしよ

【急所】

(名)

④ 身体の中で生命に因する重大な所

○ 彼は急所の痛手に屈せず賊に組付いた

○ 傷は急所を~~中~~外~~部~~に~~あ~~つた

① 物事の要所

○ 彼等は反対党の急所を押しへられてゐるの

でぐいの音も出たり

○ 急所を握る。

○ 急所を突く。

キエウジヨ

ギウジヨ

救助

名他廿七

○同船は遭難す救助を乞ふの無電を發した

(一―す)

○彼は人命を救助した廉により表彰された

ヨク

キ  
2  
竹  
ジ  
の  
オ  
手  
ゆ  
う  
じ  
や  
う  
付  
島  
城  
(  
名  
)

○宮城を参拜に往く。

○宮城前の広場。

○宮城の二重櫓。

キヌウジヨ

キユウジヤウ

〔窮状〕

〔名〕

○何卒窮状を御察し下さいます

御配慮のほど御融い申上げます

キユウシンテキ キユウシン テキ キ キ フ シ ン テ キ  
[急進的] (名)

○彼のやり方はあまりにも急進的だ。

キユウスル きゆうする

窮する (自々変)

(中) 窮

○私はこの場合いかんすべきか処置い窮し

○窮するは通ずる



○私は彼の家の事情を根拠~~キ~~ 葉~~キ~~ 据~~キ~~ きかれ  
て返答に窮した

自窮

○彼は最近金に窮して<sup>あきら</sup> 不都合を仕出か

しれものうし